
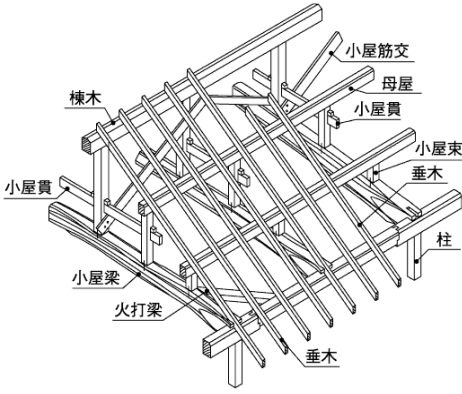


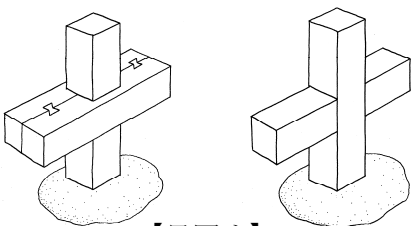




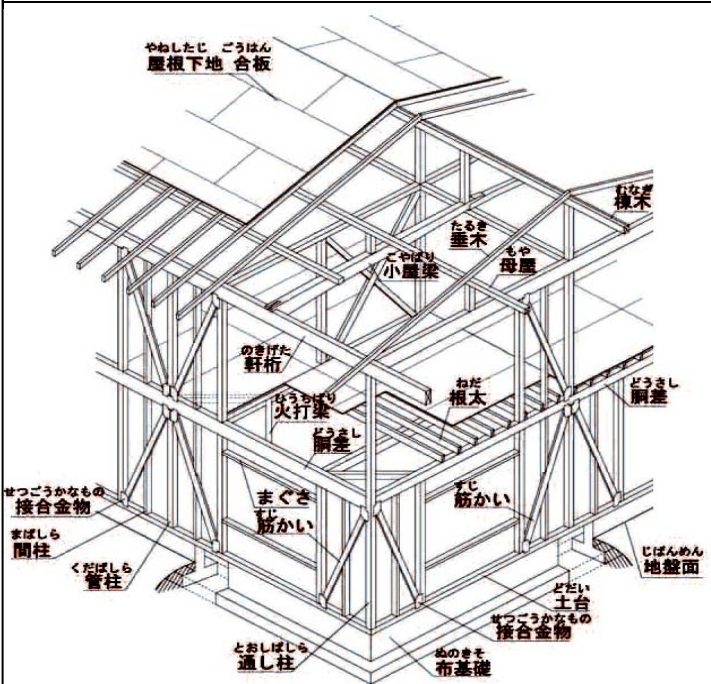
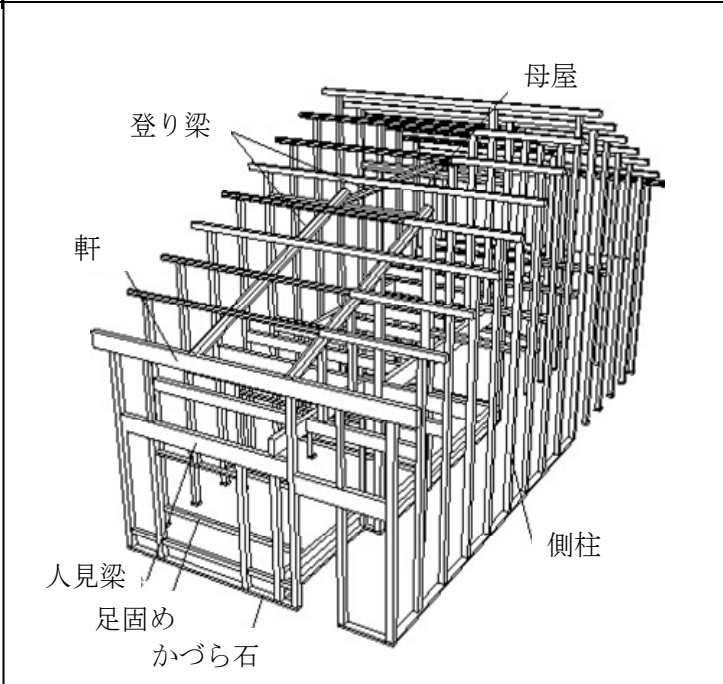
# まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業のメニュー

メニュー		助成額
在 来 工 法	①建物の健全化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土台、柱の劣化や蟻害を補修する工事（根継ぎ、やり替え）</li> <li>・水平垂直等の歪み補正</li> <li>・基礎の補修</li> </ul>	上限 30万円
	②屋根の軽量化 （土葺きを棧葺きに変更，屋根の材料を軽いものに変更する工事）	上限 30万円
		上限 30万円
	③建物の四隅への耐震壁設置 （建物形状等による条件あり）	上限 30万円
京 町 家 等 の 伝 統 構 造 法	④床面等の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階床組，小屋組に火打梁や構造用合板を設置する工事</li> </ul> 	上限 10万円
	①建物の健全化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・土台、柱の劣化や蟻害を補修する工事（根継ぎ、やり替え）</li> <li>・水平垂直等の歪み補正</li> <li>・基礎の補修</li> <li>・土壁の補修</li> </ul>  	上限 30万円
京 町 家 等 の 伝 統 構 造 法	②屋根の軽量化（在来工法と同じ）	上限 30万円
	③床面等の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2階床組，小屋組に火打梁や構造用合板を設置する工事</li> <li>・1階床に足固め，根がらみを設置</li> <li>・小屋組の一体化</li> </ul>  	上限 30万円

付帯工事	<p>①外壁等（サイディングのめくれ、ずれ、モルタルの劣化部分等）の補修</p>  <p>【サイディングのめくれ】</p> <p>②雨樋の補修 ③土管の撤去（建物の沈下・腐朽の原因となっている土管の撤去） ④土台や柱など床下を補修した場合の防蟻処理（シロアリ対策）</p>  <p>【薬剤散布】</p>  <p>【蟻道】</p>	<p>上限 10万円</p>
------	--	--------------------

※メニューについては、耐震ネットワークでの検討により対象工事を追加していく予定

在来工法と京町家等の伝統構法との違い

在来工法	京町家等の伝統構法
 <p>在来工法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和25年以降の建築基準法に基づく一般的な建て方</li> <li>・筋かいや金物等によって建物の強度を確保</li> <li>・基礎とその上部の構造が緊結され、一体化されている。</li> </ul>	 <p>伝統構法の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・壁に筋かいがなく、壁の多くが土壁</li> <li>・基礎や土台がなく、石の上に柱が載っている。</li> <li>・金物ではなく、木と木の組み手で結合されており、粘り強さで地震に耐える構造</li> </ul>